

こんにちは

日本共産党

# 横浜市議団です

日本共産党  
横浜市会議員団発行  
週刊ニュース  
2008.3.26  
横浜市中区港町1-1(市庁舎内)  
電話 671-3032 FAX 641-7100  
E-mail: info@jcp-yokohama.com  
http://www.jcp-yokohama.com/

日本共産党横浜市議団が予算組み替え動議を提出

## 市民の暮らし・福祉まもる予算に

日本共産党横浜市議団は毎年予算の組み替え動議を提出していますが、今年も25日、新年度予算案の組み替え動議を議会に提出しました。

貧困・格差拡大がすすみ、市民の暮らしと営業が、底がぬけてしまったかのような不安と危機にみまわれています。国政での自民公明政権による「構造改革」路線は、財界・大企業応援の一方で、国民には容赦なく増税や社会保障の負担増と給付削減を押し付けています。しかも、昨今の原油高・穀物高による生活必需品の値上げやコスト高が、国民の生活、中小企業などの経営をさらに圧迫しています。

こういうときだからこそ、横浜市政が市民の暮らしと福祉を守るという自治体本来の仕事に真剣に取り組むことが必要ではないでしょうか。

中田宏市長は2008年度を「横浜開港150周年へ

のカウントダウンの年」とし、新たに大規模プロジェクトに着手・推進。また、財界要望にそった高速道路、巨大港湾、羽田国際空港の大型公共事業には、巨費を投入しようとしています。

その一方で、福祉や暮らし、教育などの市民向け施策関連予算は押さえ込み、市民要望は見送り、「受益者」負担を強めています。

組み替えの基本方針は、行政サービスの低下に歯止めをかけるとともに、現行の福祉サービス水準を維持するなど、市民の福祉と暮らしを優先した予算に転換することです。また、不要不急の大型公共事業を中止して市債発行を抑制し、市財政の健全化を図ることです。

残念ながら予算組み替え案は、自民、公明、民主、ネット横浜などの反対多数で否決されました。

### 不要不急の大型公共事業等の見直し(約268億円)

- ・みなどみらい21関連事業や高速横浜環状道路建設事業等の凍結・中止
- ・地下鉄など多会計への繰出金の半減等

日本共産党の  
組み替え動議  
具体的な内容



### 事業の見直しの中止(約8億円)

- ・敬老特別乗車証の値上げ
- ・福祉施設等への上下水道料金の減免の廃止

### 新たな事業展開と施策の拡充(約137億円)

- ・子育て支援の拡充(お産、小児医療、幼稚園保育料助成、小児医療費無料化の所得制限撤廃と年齢引き上げ、学童保育)
- ・教育条件の拡充・整備(30人以下学級、中学校給食)
- ・国民健康保険料の引下げ
- ・市営住宅の新規直接建設

### 市債発行の抑制(約37億円)

大型公共工事の凍結・中止等の見直しと、中学校給食施設・市営住宅建設のための市債発行の差額約37億円の市債発行を抑制

